

西濃農林事務所の普及活動状況

平成24年11月29日現在

活力ある新産地づくり

■ブロッコリー 目揃え会の開催

11月14日に、JAにしみのブロッコリー生産協議会の目揃え会が開催され、生産者約60名が出席し、出荷規格を遵守した調製方法等について確認した。

農業普及課からは、出蓄状況から見た品種ごとの出荷開始時期の見通し、病虫害防除や年明けに出荷する品種の追肥について説明するとともに、ぎふクリーン農業の基準に留意するよう指導した。今月末には、ほとんどの生産者の出荷が始まる見込みであり、今後は出荷基準の徹底や、病気の防除、追肥について指導していくこととしている。

また、年明け出荷に向けた栽培技術習得のため、先進地視察研修会の開催を提案し、年明け出荷を行う滋賀県の産地での視察研修を、協議会事務局とともに実施することとした。

売れる農畜産物づくり

■大豆 大豆の収穫始まる

10月後半から夜温が冷え込んだ影響もあり、大豆の落葉・成熟期は平年より早まり、海津市では昨年より5日早く、10月19日から収穫が始まっている。

7月中旬～10月上旬まで、高温傾向で推移するとともに、十分な日照が確保されたため、生育は旺盛で、着粒・肥大状況も良好となり、平年をやや上回る収量が期待できるものの、9月中旬の集中豪雨による倒伏、青立ち株や雑草の目立つほ場も多く見られ、汚損粒発生防止のための丁寧な収穫作業が求められている。

今後は、JAとの連携のもと、ほ場巡回による情報提供や地域ごとの刈り取り調整会議等を通して、適期・適切な収穫による品質・収量の確保について支援することとしている。

■小麦 適期播種を支援

現地巡回や播種前研修会により、小麦の適期播種について支援してきており、11月上旬までは天候にも恵まれ、「イワイノダイチ」は10月15日～11月8日、新品種「さとのそら」は10月21日～11月20日、順調に播種が終了したものの、11月中旬以降は日を空けずに降雨があり、「農林61号」の播種は11月中には終了できない見込みである。

10月中旬以降は、平年より低温傾向で推移しており、初期生育の確保が難しくなるおそれもあるため、少しでも早い播種の実施が求められている。

■トマト トマト栽培研修会の開催

11月2日に海津トマト部会の全体研修会、11月13日に輪之内園芸トマト組合の栽培研修会・現地ほ場巡回が開催された。

農業普及課から、環境制御（二酸化炭素施用、光・温湿度管理）の現状について報告するとともに、12月の一斉防除による黄化葉巻病対策の徹底、灰色かび病予防防除の重要性について説明した。

今後は、ほ場巡回や支部研修において、適切な栽培管理について支援していく予定である。



【輪之内園芸組合トマト部会の現地ほ場巡回】

■きゅうり 抑制栽培から半促成栽培への切り替わり

11月下旬から12月上旬に抑制栽培は終了し、その後は半促成栽培に切り替わり、定植は、12月中旬～下旬が中心になっている。

きゅうり黄化えそ病対策として、ミナミキイロアザミウマをハウスに残さないよう、植え替え作業時の栽培管理に関する資料配付や巡回指導により、防除の徹底を図っている。

■春菊 目揃え会の開催

今年産の春菊は、育苗期間の病虫害被害が少なく、10月3日の出荷開始以降、順調な出荷が行われている。10月26日に、目揃え会が開催され、良品質生産のため、出荷基準について確認するとともに、冬期に発生する病虫害防除対策について指導を行った。

■なし 来年産に向けた生産者支援

今年、大垣市の一部地域で黒星病が多発生したため、研修会等において、落葉の適正処理による来年春に向けた黒星病の予防対策について呼びかけを行っている。

また、今年産「なつしずく」の反省と来年産に向けた意見交換会を兼ね、11月15、19日に、大垣市の2地区ごとに栽培検討会を実施し、品質向上と早期出荷に関する調査結果について報告するとともに、栽培技術面における支援を行った。

■茶 お茶のPR支援

11月3日に、上石津町で開催された「ふれあいかみいしづ」において、西南濃茶業振興会が行った「茶のマイペットボトル作り」によるPR活動を支援した。

茶生産者が、抹茶・煎茶・ほうじ茶・玄米茶を来場者の好みに合わせブレンドし、ペットボトル茶を作り150本無料配布し、大変好評であった。



【マイペットボトル作り】

■フランネルフラワー 現地研修会の開催

11月6日に、美濃トルコギキョウ研究会（事務局：JA全農岐阜）主催による切り花用フランネルフラワーの現地研修会が開催され、生産者及び農林事務所・農業技術センターの職員等で、海津市、大野町、揖斐川町の生産ほ場を巡回した。今年、各ほ場のフランネルフラワーの生育は良好で、3ほ場のうち2ほ場では、既に10株ほど開花していたため、研究会では春出荷だけでなく、高冷地の出荷時期に続く、11～12月の年内出荷の作型についても検討することとなった。



【海津市のほ場の様子】

魅力ある農村づくり

■鳥獣害対策 獣害対策研修会を支援

11月10日に、養老町橋爪地区の猪鹿無猿柵の設置研修会において、養老町内住民に対する技術指導を支援した。

11月13日に、海津市南濃町西園地区の猪鹿無猿柵設置予定地を確認し、太田地区の獣害対策研修会の開催を支援した。

11月20日には、大垣市上石津町の獣害対策研修会において、集落調査や鳥獣害被害マップの作成方法について説明した。



【猪鹿無猿柵の設置支援】

県民みんなで育む農業・農村

■農業体験・食育等 学校農園で柿の収穫体験

11月20日に、海津市南濃町城山小学校で、5年生65人が学校農園の柿収穫体験を行い、普及課では、収穫方法等について指導した。今年、豊作でたくさんの柿が収穫でき、老人ホームに贈ったり、家庭に持ち帰ったりして、ぎふ柿の味をみんなで楽しんだ。



【柿の収穫風景】